## 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 日本の接客Ⅰ 講義 必修選択 必修 (学則表記) 日本の接客Ⅰ 開講 時間数 単位数 年次 1年 学科 トータルビューティー国際科 1 15 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 美容業界やサービス業に必要とされるサロンマナーを知り、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ 授業のねらい 日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する 到達目標 「サービス接遇実務検定」3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する 評価基準 小テスト:40% テスト:30% プレゼンテーション:20% 授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客 ||、日本の接客 ||、日本の接客 ||、就職対策 | 、就職対策 || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 佐藤 和花子 実務経験 実務内容

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー(社会人常識)の重要性を伝達、 生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について	
2	サービス業の基本知識①	サービス業や職種・目的・行為による分類について知る	
3	サービス業の基本知識②	サービススタッフの資質や必要とされる要件について学ぶ	
4	サービス業の基本知識③	身だしなみについて学び、事例研究	
5	サービス業の基本知識④	日本の祝祭日やサービス業に関わる年中行事について学ぶ	
6	サービス業の基本知識⑤	日本の似来ロドリーと入来に例かのキャリ争にラいてすか	
7	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施	
8	敬語①		
9	敬語②	接客場面で使われる名詞の言い換えについて学ぶ	
10	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施	
11	敬語③	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと	
12	敬語④	接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践	
13	振り返り	前期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り、プレゼンテーションを実施	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する	
15	総合授業	総まとめ	

### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 日本の接客 || 講義 必修選択 必修 (学則表記) 日本の接客Ⅱ 開講 時間数 単位数 年次 学科 トータルビューティー国際科 15 1年 1 日本語能力試験 N2直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法/ 有限会社Jリサーチ出版 使用教材 出版社 日本語能力試験 N3直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法 科目の基礎情報② 授業のねらい 日本のサービス業で働く社会人として必要とされる日本語力を高め、日本語能力試験JLPTの合格に向けて、試験対策を行う 到達目標 日本語能力試験JLPT N2~N3に相当する語彙力や文法知識を身につけ、日本社会で働く上でのビジネス場面や日常生活で活用できるようにする 評価基準 小テスト:40% テスト:40% 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客 I 、日本の接客III、日本の接客IV、就職対策 I 、就職対策 II 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 佐藤 和花子 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本での就職における日本語能力の重要性を伝達、 生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	JLPT対策問題①	
3	JLPT対策問題②	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く
4	JLPT対策問題③	問題解説
5	JLPT対策問題④	
6	文字語彙①	
7	文字語彙②	日本語能力試験N2~N3対策で形容詞、副詞、擬音語、擬態語を学ぶ
8	文字語彙③	
9	中間テスト	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
10	JLPT対策問題⑤	
11	JLPT対策問題⑥	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く
12	JLPT対策問題⑦	問題解説
13	JLPT対策問題⑧	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

## 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 日本の接客Ⅲ 講義 必修選択 必修 (学則表記) 日本の接客Ⅲ 開講 時間数 単位数 年次 1年 学科 トータルビューティー国際科 1 15 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 美容業界やサービス業に必要とされるサロンマナーを知り、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ 授業のねらい 日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する 到達目標 「サービス接遇実務検定」3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する 評価基準 小テスト:40% テスト:30% プレゼンテーション:20% 授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客 | 、日本の接客 | 、日本の接客 | V、就職対策 | 、就職対策 | 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 佐藤 和花子 実務経験 実務内容

		各回の展開
回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー(社会人常識)の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	前期の復習小テスト	接客と敬語、従業要件、サービス知識、服装について 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う
3	敬語①	接客場面で使われる「クッション言葉」について学ぶ
4	敬語②	一接各場面で使われる「クッション言楽」について子ぶ
5	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
6	社会常識①	「サービス接遇実務検定」3級内容の体の部位に関する慣用表現について学ぶ
7	社会常識②	例文を作成
8	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
9	接客場面から学ぶ①	
10	接客場面から学ぶ②	接客場面から電話の取り方、接客マナーを学び、ロールプレイを実施
11	接客場面から学ぶ③	一接合場面がり电話の取り方、接合マナーを子の、ロールフレイを失腕
12	接客場面から学ぶ④	- 
13	振り返り	後期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り、プレゼンテーションを実施
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

# 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 日本の接客IV 講義 必修選択 必修 (学則表記) 日本の接客IV 開講 時間数 単位数 年次 1年 学科 トータルビューティー国際科 1 15 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 日本のサービス業で働く社会人として必要とされる日本語力を高め、日本語能力試験JLPTの合格に向けて、試験対策を行う 到達目標 日本語能力試験JLPT N2~N3に相当する語彙力や文法知識を身につけ、日本社会で働く上でのビジネス場面や日常生活で活用できるようにする 評価基準 小テスト:40% テスト:40% 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客 | 、日本の接客 || 、日本の接客 || 、就職対策 | 、就職対策 || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 佐藤 和花子 実務経験 担当教員 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本での就職における日本語能力の重要性を伝達、 生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	JLPT対策問題①	
3	JLPT対策問題②	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く
4	JLPT対策問題③	問題解説
5	JLPT対策問題④	
6	文字語彙①	
7	文字語彙②	日本語能力試験N2~N3対策で形容詞、副詞、擬音語、擬態語を学ぶ
8	文字語彙③	
9	中間テスト	授業で行った内容についての理解度を図るため、小テストを実施
10	JLPT対策問題⑤	
11	JLPT対策問題⑥	日本語能力試験N2~N3の対策問題を解く
12	JLPT対策問題⑦	問題解説
13	JLPT対策問題⑧	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 技術理論 | 講義 技術理論 | 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 3 45 年次 1年 学科 留学生のための漢字の教科書 中級700 [改訂版] 使用教材 出版社 国書刊行会 科目の基礎情報② ・美容知識を学ぶ上、各教科の授業に対応できるよう漢字を習得し漢字力を養う 授業のねらい ・実技授業にて学ぶ専門用語・知識の習熟度を高める ・日本で生活する上で必要とされる漢字を習得 到達目標 ・N2~N3に相当する漢字の読み書きができるようになる 評価基準 小テスト:40% 期末テスト:30% 中間テスト:20% 授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 ヘアーテクニックⅠ、メイクアップⅠ、ネイルテクニックⅠ、トータルビューティーⅠ、フェイシャルスキンケアⅠ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 嶋田 律子 他1名 実務経験 0 実務内容 会社経営の実務経験を基に、実技授業を通して専門用語、知識、トレンドを教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	導入、自己紹介 成績評価・JLPTについて	教員の自己紹介、日本社会における漢字の読み書き(座学授業・就職)の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達 目標、JLPT受験の重要性について	
2	実力テスト実施①	現段階での漢字レベルを図るため、漢字の実力テストを実施	
3	実力テスト実施②	漢字や文字語彙の復習を行う	
4	常用漢字について①		
5	常用漢字について②	初級で学習した漢字の中級での読み方を習得	
6	常用漢字について③	日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ	
7	常用漢字について④		
8	中間テスト	中間テストを実施	
9	常用漢字について⑤		
10	常用漢字について⑥	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得	
11	常用漢字について⑦	日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ	
12	常用漢字について⑧		
13	振り返り	前期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り	
14	期末テスト	前期末のテストを実施する	
15	総合授業	前期授業のまとめを行う(テストの振り返り含む)	

## 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 技術理論 || 講義 技術理論 || 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 3 45 年次 1年 学科 留学生のための漢字の教科書 中級700 [改訂版] 国書刊行会 使用教材 出版社 科目の基礎情報② ・美容知識を学ぶ上、各教科の授業に対応できるよう漢字を習得し漢字力を養う 授業のねらい ・実技授業にて学ぶ専門用語・知識の習熟度を高める ・日本で生活する上で必要とされる漢字を習得 到達目標 ・N2~N3に相当する漢字の読み書きができるようになる 評価基準 小テスト:40% 期末テスト:30% 中間テスト:20% 授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 ヘアーテクニック | / ||、メイクアップ | / ||、ネイルテクニック ||、トータルビューティー ||、フェイシャルスキンケア || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 嶋田 律子 他1名 実務経験 0 実務内容 会社経営の実務経験を基に、実技授業を通して専門用語、知識、トレンドを教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	前期の復習 小テスト	日本社会における漢字の読み書き(座学授業・就職)、JLPT受験の重要性を再度伝達 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う	
2	常用漢字について①		
3	常用漢字について②		
4	常用漢字について③	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ	
5	常用漢字について④		
6	常用漢字について⑤		
7	中間テスト	中間テストを実施	
8	常用漢字について⑥		
9	常用漢字について⑦		
10	常用漢字について⑧	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 ビジネス場面で使う日本語表現とマナーについて学ぶ	
11	常用漢字について⑨		
12	常用漢字について⑩		
13	振り返り	後期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り	
14	期末テスト	後期末のテストを実施する	
15	総合授業	総まとめ	

## 科目の基礎情報① 授業形態 就職対策I 科目名 講義 就職対策 I 必修選択 (学則表記) 選択 開講 単位数 時間数 年次 学科 トータルビューティー国際科 1 15 1年 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 美容業界就職に対しての知識/意識付けを学ぶ 到達目標 美容業界における自身のなりたい像が描ける 評価基準 テスト40%、提出物40%、授業態度20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客 | 、日本の接客 | 、日本の接客 | | 、日本の接客 | | 、 日本の接客 | | 、 日本の接客 | | 、 日本の接客 | | 、 記職対策 | | 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 楊 蔚樂 他1名 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・評価基準・到達目標について	
2	スタプロ振り返り①	報連相や挨拶の方法など、社会人として必要のマナーについて復習	
3	スタプロ振り返り②	学園生活でどのように活かしていくかを考える	
4	学園生活での目標設定①	学園生活での目標設定(グループワーク)	
5	学園生活での目標設定②	学園生活での目標設定(グループワーク)	
6	学園生活での目標設定③	学園生活での目標設定(グループ発表)	
7	日本の美容業界研究①	日本の美容業界と希望する職業についての知識を深める	
8	日本の美容業界研究②	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践	
9	日本の美容業界研究③	希望する職業や学科コースの授業見学を行う	
10	目標設定	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なこと(個人ワーク)	
11	目標設定(テスト)	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なことについて発表(個人ワーク)	
12	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	日本で美容を学んだ後、美容業界で活躍・成功している外国人の実例を紹介 外国人の就労を認めている企業や実例を自ら調べる	
13	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	外国人の就労を認めている企業や実例を発表	
14	期末テスト	前期の振り返りとして、授業内に設定した学園生活の目標について200字の作文テスト	
15	総合授業	前期授業のまとめを行う(テストの振り返り含む)	

## 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 就職対策Ⅱ 講義 就職対策Ⅱ 必修選択 (学則表記) 選択 開講 単位数 時間数 年次 トータルビューティー国際科 1 15 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 身につけた美容業界就職に対しての知識・技術を総集し形にすることで、就職に対する意識を増幅する 到達目標 美容業界における自身のなりたい像が描けるように、卒業後の進路(2年制課程への進級)が明確になる 評価基準 テスト40%、提出物40%、授業態度20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 楊 蔚樂 他1名 実務経験 実務内容

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	イントロダクション	授業内容の説明・評価基準の説明	
2	ピューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介とステージアップの流れの説明	
3	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(美容科)	
4	ピューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(ヘアメイク科)	
5	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(トータルビューティー科)	
6	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(トータルビューティー科)	
7	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(エステティック科)	
8	自己分析・他己分析	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと 接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践	
9	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ	
10	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ	
11	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う	
12	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う	
13	目標設定	卒業後の目標を考える(個人ワーク) 卒業後の具体的進路を考える(個人ワーク)	
14	人生のビジョン設計	人生のビジョン・具体的なライフプランを考える 1年間を通して自身が成長したと思う点を分析し、今後伸ばしたいと思う点を考える	
15	総合授業	総まとめ	

### 科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 メイクアップL メイクアップI 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 トータルビューティー国際科 2 メイク道具一式 使用教材 出版社 科目の基礎情報② ・スキンケアからフルメイクまでの技術と知識を日本語で実践できる 授業のねらい ・特殊メイク、キャラクターメイクなどの特化した技術・知識を習得し、メイクの応用力を身につける ・スキンケアからフルメイクまでの技術理論を理解し人にメイクができるようになる 到達目標 ・ボディアートやペイントのような特化した技術を習得し実践できるようにする 評価基準 テスト50%、提出物25%、授業態度等25% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 | 、技術理論 || 週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 内村 美子 他2名 実務経験 $\circ$ 担当教員 実務内容 舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、メイク技術を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 オリエンテーション 授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)、メイクアップ概論 メイクアップ概論 1 オリエンテーション 授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)ボディアート等の導入 ボディアート① ベースメイク ベースメイク(手順) ボディアート② ボディアートの導入(使い方・手順) ベースメイク ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗) 3 ボディアート③ ボディアートの実践(復習・アート練習) スキンケア/ベースメイク ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り 4

ボディアートの実践 (アート課題練習)

ボディアートの実践(実技テスト)

様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入

ポイントメイク(アイメイク)

ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ポイントメイク(アイシャドウ)

ボディアート④

ベースメイク

ボディアート⑤

傷メイク①

ベースメイク/ポイントメイク

.....

5

6

# ポイントメイク	_		
### #################################	7	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
8	,	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
様々な傷(あざ・火傷合む)のメイクの実践(実践テスト)   ガイントメイク	0	ポイントメイク	ポイントメイク(アイプロウ)
9 ボディジュエリー① ボディジュエリーの導入 (使い方・手順)  10 ボイントメイク ベースメイクから全てのポイントメイクを行う  ボディジュエリー② ボディジュエリーの実践 (転写)  フルメイク フルメイクテスト40分、ペーシックテクニックの振り返り  エアブラシ① エアブラシの導入 (セッティング・使い方)  フルメイク フルメイク(ソフト)  エアブラシ② エアブラシの実践 (単色)  フルメイク スキンケア(手順)、反復練習  エアブラシ③ エアブラシの実践 (混色)  フルメイク フルメイク(シャーブ)	0	傷メイク③	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践(実技テスト)
ボディジュエリー①   ボディジュエリーの導入 (使い方・手順)     10	0	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
10 ボディジュエリー② ボディジュエリーの実践(転写)  11 フルメイク フルメイクテスト40分、ペーシックテクニックの振り返り エアブラシ① エアブラシの導入(セッティング・使い方)  12 エアブラシ② エアブラシの実践(単色)  フルメイク スキンケア(手順)、反復練習 エアブラシ③ エアブラシの実践(混色)	9	ボディジュエリー①	ボディジュエリーの導入(使い方・手順)
ボディジュエリー②   ボディジュエリーの実践 (転写)	10	ポイントメイク	ベースメイクから全てのポイントメイクを行う
11 エアブラシ① エアブラシの導入(セッティング・使い方)  12 フルメイク フルメイク(ソフト) エアブラシの実践(単色)  フルメイク スキンケア(手順)、反復練習 エアブラシ③ エアブラシの実践(混色)  フルメイク フルメイク フルメイク(シャープ)	10	ボディジュエリー②	ボディジュエリーの実践(転写)
エアブラシ①     エアブラシの導入(セッティング・使い方)       12     フルメイク(ソフト)       エアブラシ②     エアブラシの実践(単色)       フルメイク     スキンケア(手順)、反復練習       エアブラシ③     エアブラシの実践(混色)       フルメイク     フルメイク(シャープ)       14     フルメイク(シャープ)	11	フルメイク	フルメイクテスト40分、ベーシックテクニックの振り返り
12 エアブラシ② エアブラシの実践 (単色)  7ルメイク スキンケア(手順)、反復練習  エアブラシ③ エアブラシの実践 (混色)  7ルメイク フルメイク フルメイク(シャープ)	11	エアブラシ①	エアプラシの導入(セッティング・使い方)
エアブラシの実践 (単色)       フルメイク     スキンケア(手順)、反復練習       エアブラシ③     エアブラシの実践 (混色)       フルメイク     フルメイク(シャープ)       14     フルメイク(シャープ)	12	フルメイク	フルメイク(ソフト)
13 エアブラシ③ エアブラシの実践 (混色)  フルメイク フルメイク(シャープ)	12	エアブラシ②	エアプラシの実践(単色)
エアプラシ③     エアプラシの実践 (混色)       フルメイク     フルメイク(シャープ)       14     ************************************	12	フルメイク	スキンケア(手順)、反復練習
14	13	エアブラシ③	エアプラシの実践(混色)
	1/	フルメイク	フルメイク(シャープ)
	14	エアプラシ④	エアプラシの実践(課題ブリント)
総合授業 まとめを行う 15	15	総合授業	まとめを行う
13 総合授業 まとめを行う	10	総合授業	まとめを行う

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 メイクアップⅡ 実技 メイクアップⅡ 必修選択 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 2 60 年次 1年 学科 使用教材 メイク道具一式 出版社 科目の基礎情報② エアブラシからボディジュエリー、ブライダル、ショーのシーンや撮影などで施すメイク技術を身につけ、 授業のねらい 現場において実践できるようにする ショーメイク・スチール撮影 到達目標 メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる 実技テスト50%、提出物25%、授業態度等25% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 | 、技術理論 || 備考 週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 内村 美子 他2名 実務経験 0 実務内容 舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、メイク技術を教授する。

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション プライダル概論、基礎知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認<名称、使い方、管理(セッティング)方法>、イメージをつかませるため教員によるデモまたはブライダルの映像鑑賞、コラージュ作成
2	プライダルメイク	ドレス別のメイク実習(実践)
3	ショーメイク①	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
5	ショーメイク③	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
6	ショーメイク④	テーマに合わせてショーメイク(フルメイク実践)を行う
7	舞台メイク①	舞台の男役メイクを実践する
8	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
9	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
11	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
12	作品制作①	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
13	作品制作②	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
14	作品制作③	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返りテスト
15	総合授業	まとめを行う

#### 科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 ネイルテクニックI ネイルテクニックI 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 トータルビューティー国際科 60 ネイル道具一式 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい ネイルケア、カラーリングの技術・手順を理解し、実践できる 到達目標 基本的技術の習得 評価基準 実技テスト:40%、宿題:30%、小テスト:20%、授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 JNECネイリスト検定3級 関連資格 関連科目 技術理論Ⅰ、ネイルテクニックⅡ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 里崎 潤子 他1名 実務経験 $\circ$ 担当教員 実務内容 都内ネイルサロンでネイリストとして勤務4年、ネイル認定講師歴15年の勤務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 教材配布(名称及び用途説明) 道具に名前を付けさせる。ウッドスティックの整え方・コットンの巻き方 1 ネイル概論 (爪の構造と働き) 爪の構造、名称を理解する。トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、 ファイリング実技(トレーニングハンド) 5パターンのカットスタイルの違いを理解する 座学復習。チップに5種類のカットスタイルを施す ファイリング実技(トレーニングハンド) 2 テーブルセッティングを学ぶ テーブルセッティング ファイリング実技(相モデル) ファイリング、シャイニングを人の手に行う カラーリングデモ・シート実技 シートを使用し、ボトルの持ち方、ポリッシュの量、 塗り方を学ぶ(持ち塗り、置き塗り)カラーリングのデモを見せる。オフの仕方も学ぶ。 カラーリング実技(相モデル) 3 カラーリング実技 (相モデル) 相モデルでカラーリングを施す カラーリング実技(相モデル)

アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ

テーマを決め、相モデルでアート練習

テーマを決め、相モデルでアート練習

自分の手にやってみる

ケアのデモンストレーションを見せる。正しい使用方法、手順を学ぶ

相モデルでケアを行う。プッシャー、ニッパーの使用方法の確認。

4

5

ペイントアート実技(チップ)

ベイントアート実技(相モデル)

ペイントアート実技(相モデル)

ケア デモンストレーション

ケア実技(自分の手)

ケア実技 (相モデル)

7	ケア・カラーリング実技	実技テストを向けてのケア・カラー練習
,	カラー・アート実技	実技テストを向けてのカラー・アート練習
	実技試験(テスト)	ケア〜アートまでの技術を時間内に仕上げる
8	実技試験(テスト)	ケア〜アートまでの技術を時間内に仕上げる
	ポリッシュアート(相モデル)	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
9	ポリッシュアート(相モデル)	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
10	ポリッシュアート(相モデル)	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
10	ポリッシュアート(相モデル)	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
11	ポリッシュアート(相モデル)	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
11	ベイントアート実技(チップ)	テーマを決め、アートチップを作成する
12	ペイントアート実技(チップ)	テーマを決め、アートチップを作成する
12	ペイントアート実技(相モデル)	テーマを決め、相モデルでアート練習
13	実技試験(テスト)	授業の総復習としてアートを含め実技を行う(ペイントアート&ポリッシュアート)
13	実技試験(テスト)	授業の総復習としてアートを含め実技を行う(ペイントアート&ポリッシュアート)
14	ケア&シャイン	ケアを行い、シャイナーの使い方をマスターする
14	シールアート(相モデル)	最新のネイルグッズを使い、シールアート・ストーンアートを学ぶ
15	授業内コンテスト	授業の総復習として、アートチップを5枚作成する
13	総合授業	総まとめを行う

### シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 ネイルテクニックⅡ ネイルテクニックⅡ 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 トーテルビューティー国際科 60 ネイル道具一式 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい ネイルの楽しさを知り、ジェルネイル・爪の修復・補強の技術と手順を理解し、実践できる 到達目標 基本的技術の習得 評価基準 実技テスト:40%、宿題:30%、小テスト:20%、授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論Ⅱ、ネイルテクニックⅠ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 里崎 潤子 他1名 実務経験 $\circ$ 担当教員 実務内容 都内ネイルサロンでネイリストとして勤務4年、ネイル認定講師歴15年の勤務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 導入・教材の名称及び説明 教材説明 ジェル講義・デモンストレーション ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ 1 座学復習 ジェル講義復習・ジェルカラー実技 チップ・自爪にジェルカラーリングをを施す ジェルカラー実技(相モデル) 相モデルでジェルカラーを施す 2 プレパレーション講義・デモンストレーション プレパレーションを学ぶ。自爪にプレパレーションを施す ジェルオフデモンストレーション 相モデルでジェルオフを実習 3 ジェルカラー実技(相モデル) 相モデルでジェルカラー(パール・シアー・ラメカラー)を施す ジェルカラー実技(相モデル) 相モデルでジェルカラー(パール・シアー・ラメカラー)を施す 4 ジェルアート講義・デモンストレーション・実 グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ ジェルアート講義・デモンストレーション・実 グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ ジェルアート講義・デモンストレーション・実 グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ ジェルアート講義・デモンストレーション・実技 グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ

授業の復習としてアートを含め実技を行う(ジェルカラー・アート)

実技試験(テスト)

	実技試験(テスト)	授業の復習としてアートを含め実技を行う(ジェルカラー・アート)
7	ジェルアート(3Dアート) デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
8	ジェルアート(3Dアート) デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
Ü	ジェルアート(3Dアート) デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
9	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
3	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
10	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
10	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
11	ハンドトリートメント講義・デモンストレー ション ハンドトリートメント実技	ハンドトリートメントについて学ぶ
	ケア・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントについて学ぶ
12	リベア (シルク、レジン) 講義・デモンストレーション・実習	爪の補修・補強(シルクラップ)およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
	シルクラップ (相モデル)	爪の補修・補強(シルクラップ)およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
12	実技試験(テスト)	シルクラップの技術を時間内に仕上げる
13	ジェルアート講義・デモンストレーション・実 技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
14	ジェルアート講義・デモンストレーション・実 技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
14	ストーンアート(相モデル)	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
15	ストーンアート(相モデル)	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
15	総合授業	総まとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 フェイシャルスキンケアー 実技 必修選択 フェイシャルスキンケア丨 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 1 30 年次 1年 学科 クリエーヌ化粧品・タオル類・消耗品類 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい フェイシャルエステティックの流れ・基本の手技を覚える 到達目標 ホスピタリティーの実践 基本的なフェイシャル技術を提供できるようになる 評価基準 実技試験2回 出席表の提出 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 | 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 金濱 まり子 他2名 実務経験 0 実務内容 エステティシャンとしてエステサロン・イギリスSteiner. 客船内Spaで33年勤務した実績を基に、基本的なフェイシャル技術を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について			
2	接客マナー(相モデル)	挨拶・身嗜み・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導			
3	フェイシャルエステティックとは	フェイシャルエステティックの目的と効果、 フェイシャルエステティックの流れ・事前準備			
4	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-軽擦法-強擦法-揉捻法-HOTタオルふき取り			
5	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-打法・振動法-圧迫法-軽擦法-HOTタオルふき取り			
6	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導			
7	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導			
8	フェイシャル実技試験	成績評価①			
9	フェイシャル機器・パック	吸引導入・デモンストレーション			
10	フェイシャル機器・パック	パック導入・デモンストレーション			
11	フェイシャル機器・パック	吸引・バック練習			
12	フェイシャル機器・パック	吸引・バック練習			
13	フェイシャル実技試験	成績評価②			
14	フェイシャル総合	吸引・マッサージ・パック通し練習			
15	フェイシャル総合	総合授業を行う			

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 フェイシャルスキンケアⅡ 実技 必修選択 (学則表記) フェイシャルスキンケアⅡ 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 1 30 年次 1年 学科 クリエーヌ化粧品・タオル類・消耗品類 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、基本的なフェイシャルトリートメントを理解する 到達目標 ホスピタリティーの実践 基本的なフェイシャル技術の提供・機器の使用ができるようになる 実技試験2回 出席表の提出 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 金濱 まり子 他2名 実務経験 0 実務内容 エステティシャンとしてエステサロン・イギリスSteiner. 客船内Spaで33年勤務した実績を基に、基本的なフェイシャル技術を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について・挨拶・身嗜み・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導		
2	フェイシャルマッサージ 前操作	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導/前操作		
3		酵素洗顔導入・デモンストレーション		
4	ディープクレンジング	酵素洗顔流れ 通し		
5		粒子あり導入・デモンストレーション		
6		粒子なし導入・デモンストレーション		
7	フェイシャル実技試験	成績評価① 前操作・酵素洗顔		
8		プラシ洗顔導入		
9	フェイシャル機器①	クレンジング復習・ブラシ洗顔		
10		プラシ洗顔・マッサージ通し練習		
11	フェイシャル実技試験	成績評価② ブラシ洗顔・マッサージ		
12		ご案内~お返しまでの復習 超音波機器導入		
13	フェイシャル機器②	超音波機器 通し練習		
14		超音波機器・フェイシャルバック		
15	フェイシャル総合	総合授業		

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 ヘアーテクニックI 実技 ヘアーテクニックI 必修選択 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 2 60 年次 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② ・美容の技術と知識を幅広い基礎知識を習得する 授業のねらい ・シーンに合わせた技術を身に付け自信と実践力を強化する \_\_\_\_ ヘアアレンジ、カラーのスキルをあげる 到達目標 名称を知り、髪の毛や道具の扱い方・逆毛・ピニング・アレンジスタイルの試験合格 テスト40%、小テスト30%、授業態度30% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 ヘアーテクニックⅡ、技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 浅野 朝妃 他1名 実務経験 0 実務内容 スタジオにてヘアメイクとして5年勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	オリエンテーション ブロッキング〜ブロー	この授業の目的・評価基準・マナールール再確認、教材確認(名称・扱い方・管理方法) ヘアアレンジ基礎、ブロッキング、ブロー		
2	用具、道具の名称 プロー	用具、道具の確認、プロッキング ウェット、ドライ、プロー		
3	ピニング、ゴム結び	ピニング、ゴム結び 小テスト		
4	ツインテール 一束結び	ツインテール〜お団子 一束結び〜シニョン(テスト)		
5	コテ巻き	コテの使い方、巻き方別		
6	ストレートアイロン	ストレートアイロンの使い方、バリエーション		
7	三つ編み、編み込み	三つ編み、四つ編み、フィッシュボーン 編み込み (表・裏)		
8	編み込みスタイル	三つ編みの入ったスタイル作り 編み込みスタイルのほぐし方		
9	編み込みスタイル スタイリング講座	編み込みスタイルのテスト スタイリング剤の種類と使い方		
10	ホットカーラー	ホットカーラーの巻き方		
11	ハーフアップ アレンジスタイル	ハーフアップやクウォーターアップでビニングを確認 アレンジスタイル作り		
12	アレンジスタイル	アレンジスタイル作り 小テスト		
13	ヘアカラー	ヘアカラーについて説明、塗り方		
14	ヘアカラー	ヘアカラー練習、実践		
15	ヘアカラー ヘアカラーアレンジ制作	ヘアカラー実践 ヘアカラー〜アレンジ作品制作		

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 ヘアーテクニックⅡ 実技 ヘアーテクニックⅡ 必修選択 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 2 60 年次 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 美容の技術と知識を幅広く基礎知識を習得する 授業のねらい シーンに合わせた技術を身に付け自信と実践力を強化する ヘアアレンジ、カラーのスキルをあげる 到達目標 名称を知り、髪の毛や道具の扱い方・逆毛・ピニング・アレンジスタイルの試験合格 テスト40%、小テスト30%、授業態度30% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 ヘアーテクニックⅠ、技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 浅野 朝妃 他1名 実務経験 0 実務内容 スタジオにてヘアメイクとして5年勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開			
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション ヘアアレンジ	この授業の目的・評価基準・マナールール再確認、教材確認(名称・扱い方・管理方法) ヘアアレンジ(逆毛の立て方)	
2	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(夜会巻き)	
3	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(夜会巻きテスト) ヘアアレンジ(カールアップ)	
4	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(カールアップ)	
5	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(カールアップテスト) ヘアアレンジ(おくれ毛)	
6	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(ゆるふわほぐしテクニック)	
7	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ(ゆるふわほぐしテクニックテスト)	
8	カット	ベーシックカット①、②(前髪カット)	
9	カット+スタイリング	ショートスタイル ミディアムスタイル	
10	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作	
11	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作	
12	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作	
13	カット	ベーシックカット③、④	
14	カット	ベーシックカット⑤、⑥	
15	総合まとめ	作品発表、振り返り	

# 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 トータルビューティーI 実技 トータルビューティーI 必修選択 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 1 30 年次 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を習得する 到達目標 着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する 評価基準 修了試験:40% テスト:30% 授業態度:30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 | 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 小野麻紀子 他 3 名 実務経験 0 ハウス・レストランウェディングでの各種着付け、広告等スチール撮影での各種着付けを担当し、17年勤務をした実務経験を基に、日本の伝統衣装で 実務内容 ある着物の自装技術・知識を教授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション 座学1	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明、浴衣について	
2	浴衣の着方 1	男性浴衣の着方について学び実践する	
3	浴衣の着方 2	女性浴衣の着方について学び実践する	
4	浴衣の着方 3	女性浴衣の着方について学び実践する	
5	浴衣の着方 4	浴衣(男女)の着方を仕上げる	
6	座学 2	着物・TPOについて	
7	着物の着方	男性着物の着方について学び実践する	
8	小紋の着方1	下着・補整・長襦袢について学び実践する	
9	小紋の着方 2	小紋の着方を学び実践する	
10	小紋の着方3	お太鼓結びを学び実践する	
11	小紋の着方 4	小紋にお太鼓結びを仕上げる	
12	小紋の着方 5	小紋にお太鼓結びを仕上げる	
13	修了試験	修了試験を実施する	
14	礼装体験	礼装着物の着装を体験する	
15	総合学習	総まとめを行う	

### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 トータルビューティーⅡ 実技 (学則表記) トータルビューティーⅡ 必修選択 必修 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 1 30 年次 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践できる 到達目標 まつ毛エクステンションに関する技術の習得や知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する 評価基準 テスト30%、小テスト20%、提出物20%、授業態度30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 技術理論 || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する 担当教員 松尾 智子 他2名 実務経験 0 美容室・企業広告関係などでヘアメイクとして25年、サロンでアイリストとして9年勤務をした実務経験を基に、まつ毛エクステンションの知識を教 実務内容 授する。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	首熱状況寺により授業の展開か変わることがあります <b>各回の展開</b>		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング	
2	概論、用具	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明	
3	まつ毛エクステンション 実習①	用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方	
4	衛生管理	まつ毛エクステンションおよび用具・施術環境の衛生的な管理方法について	
5	まつ毛エクステンション 実習②	グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着	
6	保健(皮膚とまつ毛)	皮膚とまつ毛の構造と病気について	
7	まつ毛エクテンション 実習③	Jカールの装着	
8	保健(眼)	眼の構造と病気について	
9	まつ毛エクテンション 実習④	Cカールの装着	
10	テーピング、リムービングの使い方と技術	テーピングとリムービングの使用方法	
11	小テスト	復習テスト	
12	カウンセリング	お客ように対するカウンセリング、アフターケアの説明を実践する	
13	まつ毛エクテンション 実習⑤	装着復習	
14	前期末テスト	期末テストを実施	
15	総合授業	総まとめを行う	

シラバス							
科目の基礎情報①							
授業形態講義		科目名	検定対策				
必修選択    選択		(学則表記)		検定対	対策		
			開講			単位数	時間数
年	次	1年	学科		-ティー国際科	3	45
使用	教材	日本語総まとめ N2 文法 増補改訂版 日本語総まと	(「日本語能力試験」対策)/ め N3文法	/	出版社	アスク出版	
				科目の基礎情報②			
授業の	ねらい	・日本語能力試験(JLPT	) N2~N3合格を目指し、文法知識をつける・日本で働く社会人としての考え方をはじめ、敬語の使い方を学ぶ				
到達	目標		要とされる文法知識を学ぶ  識について自ら説明でき、				
評価	5基準	小テスト:40% 期末テ	スト:30% プレゼンテー	ション20% 授業態度:	10%		
認定	条件	・出席が総時間数の3分 ・成績評価が2以上の者					
関連	資格						
関連	科目	ヘアーテクニック丨、メ	イクアップ丨、ネイルテク.	ニックI、トータルビュ-	-ティーI、フェイシャル	スキンケアI	
備	拷						
担当	<b>á</b> 教員	徳山 麻美子			実務	経験	
実務	內容						
					習:	熟状況等により授業の展開	見が変わることがあります
		自然仏儿寺により技業の展開が支わることがあります。 <b>各回の展開</b>					
	1			各回の展開			
回数		単元		各回の展開	内容		
回数 1	導入、自己紹介 成績評価・JLPT(		教員の自己紹介、日常生活や就順			業の目的、到達目標、JLPT受験	2の重要性について
			教員の自己紹介、日常生活や就員 現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う	<b>職における文法知識や敬語の重</b>		業の目的、到達目標、JLPT受験	(の重要性について
1	成績評価・JLPT(	こついて	現段階での文法レベルを図るたと	<b>職における文法知識や敬語の重</b>		業の目的、到達目標、JLPT受験	2の重要性について
1 2	成績評価・JLPT( 実力テスト実施	こついて (①	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	<b>※の重要性について</b>
2 3	成績評価・JLPT( 実力テスト実施 基本文型について	こついて 「①	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	(の重要性について
1 2 3	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について	こついて 「① 「②	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	<b>企の重要性について</b>
1 2 3 4 5	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について	こついて 「① 「②	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	えの重要性について
1 2 3 4 5	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について	(a)	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を当	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	その重要性について
1 2 3 4 5 6 7	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 中間テスト	(a) (b) (c) (c) (d)	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を当	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施		業の目的、到達目標、JLPT受験	の重要性について
1 2 3 4 5 6 7 8 8	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 中間テスト	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c)	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を当	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施 学ぶ		業の目的、到達目標、JLPT受験	の重要性について
1 2 3 4 5 6 7 8 8 9	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c)	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を含 中間テストを実施	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施 学ぶ		業の目的、到達目標、JLPT受験	えの重要性について
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を含 中間テストを実施	機における文法知識や敬語の重 め、文法の実力テストを実施 学ぶ		業の目的、到達目標、JLPT受験	その重要性について
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 中間テスト 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う 初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を含 中間テストを実施	機における文法知識や敬語の重 の、文法の実力テストを実施 学ぶ		業の目的、到達目標、JLPT受験	次の重要性について
1 2 3 4 5 6 7 8 8 9 10 11 12	成績評価・JLPTが 実力テスト実施 基本文型について 基本文型について 基本文型について 中間テスト 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について 基本文型について	(a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	現段階での文法レベルを図るため 文法の復習を行う  初級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を含 中間テストを実施  中級で学習した文法を復習 日常生活でよく使われる文型を含	機における文法知識や敬語の重 の、文法の実力テストを実施 学ぶ		業の目的、到達目標、JLPT受験	次の重要性について

### 科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 検定対策Ⅱ 必修選択 (学則表記) 検定対策 || 選択 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 3 45 年次 1年 学科 日本語総まとめ N2 文法 (「日本語能力試験」対策)/ 使用教材 出版社 アスク出版 増補改訂版 日本語総まとめ N3文法 科目の基礎情報② ・日本語能力試験 (JLPT) N2~N3合格を目指し、文法知識をつける 授業のねらい ・日本で働く社会人としての考え方をはじめ、敬語の使い方を学ぶ ・日本で生活する上で必要とされる文法知識を学ぶ 到達目標 ・N2~N3レベルの文法知識について自ら説明でき、運用できるようになる 評価基準 小テスト:40% 期末テスト:30% プレゼンテーション20% 授業態度:10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 ヘアーテクニック丨、メイクアップ丨、ネイルテクニック丨、トータルビューティー丨、フェイシャルスキンケア丨 備考 徳山 麻美子 実務経験 担当教員 実務内容

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	前期の復習 小テスト	日本社会におけるビジネスマナー(文法・敬語)、JLPT受験の重要性を再度伝達 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施、解説を行う		
2	基本文型について①			
3	基本文型について②			
4	基本文型について③	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得 日常生活で使う語彙と漢字の使い方について学ぶ		
5	基本文型について④			
6	基本文型について⑤			
7	中間テスト	中間テストを実施		
8	常用漢字について⑥			
9	常用漢字について⑦	中級漢字の書き方・意味・読み方・関連語彙を習得		
10	常用漢字について⑧	ビジネス場面で使う日本語表現とマナーについて学ぶ		
12	常用漢字について⑩			
13	振り返り	後期授業で学んだ必要とされる漢字や語彙についてを振り返り		
14	期末テスト	後期末のテストを実施する		
15	総合授業	総まとめ		

#### 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 サロンワーク 実技 サロンワーク 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 トータルビューティー国際科 年次 1年 学科 1 30 使用教材 出版社 科目の基礎情報② ①学んだ技術、サロン運営を行う力、現場力を身につける 授業のねらい ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける ①現場実践を積み、接客力を身に付けるて実践することができる 到達目標 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる 評価基準 テスト: 20% 小テスト: 40% 授業態度: 20% 提出物: 20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 なし 関連科目 メイクアップl~IV、ネイルテクニックl~IV、ヘアーテクニックl~IV、フェイシャルスキンケアl~Ⅱ、トータルビューティーl~Ⅱ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 楊 蔚樂 担当教員 実務経験 実務内容 JNECネイリスト技能検定1級・JNAジェルネイル検定上級資格所持。美容学校教師歴3年を経て、サロンワークに必要な接客技術について教授する 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 内容 回数 1 サロンワーク導入 サロンワーク技術練習 2 3 サロンワーク技術練習 4 サロンワーク技術練習 5 サロンワーク技術練習 サロンワーク技術練習 6 7 サロンワーク技術練習 様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ 8 サロンワーク技術練習 9 サロンワーク技術練習 サロンワーク技術練習 10 サロンワーク技術練習 11 12 サロンワーク技術練習・テスト 13 サロンワーク技術練習 14 振り返り 総合授業 総まとめを行う 15

### 科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 キャリアデザインI 必修選択 (学則表記) キャリアデザインI 選択 開講 単位数 時間数 年次 トータルビューティー国際科 1 15 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする 自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 到達目標 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。 評価基準 授業態度:30% レポート・課題など(提出物):70% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 就職対策I・Ⅱ / キャリアデザインⅡ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 楊 蔚樂 他1名 担当教員 実務経験 実務内容

	<b>各回の展開</b>		
回数	単元	内容	
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・評価基準・到達目標について	
2	スタプロ振り返り①	報連相や挨拶の方法など、社会人として必要のマナーについて復習	
3	スタプロ振り返り②	学園生活でどのように活かしていくかを考える	
4	学園生活での目標設定①	学園生活での目標設定(グループワーク)	
5	学園生活での目標設定②	学園生活での目標設定(グループワーク)	
6	学園生活での目標設定③	学園生活での目標設定(グループ発表)	
7	日本の美容業界研究①	日本の美容業界と希望する職業についての知識を深める	
8	日本の美容業界研究②	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践	
9	日本の美容業界研究③	希望する職業や学科コースの授業見学を行う	
10	目標設定	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なこと(個人ワーク)	
11	目標設定(テスト)	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なことについて発表(個人ワーク)	
12	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	日本で美容を学んだ後、美容業界で活躍・成功している外国人の実例を紹介 外国人の就労を認めている企業や実例を自ら調べる	
13	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	外国人の就労を認めている企業や実例を発表	
14	期末テスト	前期の振り返りとして、授業内に設定した学園生活の目標について200字の作文テスト	
15	総合授業	前期授業のまとめを行う(テストの振り返り含む)	

### 科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 キャリアデザインⅡ 必修選択 (学則表記) キャリアデザインⅡ 選択 開講 単位数 時間数 年次 トータルビューティー国際科 1 15 1年 学科 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。 自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 到達目標 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。 評価基準 授業態度:30% レポート・課題など(提出物):70% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 就職対策Ⅰ・Ⅱ / キャリアデザインⅠ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 楊 蔚樂 他1名 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	授業内容の説明・評価基準の説明
2	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介とステージアップの流れの説明
3	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(美容科)
4	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(ヘアメイク科)
5	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(トータルビューティー科)
6	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(トータルビューティー科)
7	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介(エステティック科)
8	自己分析・他己分析	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと 接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践
9	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ
10	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ
11	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う
12	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う
13	目標設定	卒業後の目標を考える(個人ワーク) 卒業後の具体的進路を考える(個人ワーク)
14	人生のビジョン設計	人生のビジョン・具体的なライフプランを考える 1年間を通して自身が成長したと思う点を分析し、今後伸ばしたいと思う点を考える
15	総合授業	総まとめ